

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

ゆにーく

公表日

令和8年2月9日

利用児童数 2名

回答数 2名

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	0	2	0	・特に助言や説明を受けることはありませんでした。	今まで支援終了後の休み時間に少しの時間を利用し学校側との話を行っていたが、間接支援の時間を学校側と協議し、あらかじめ設定することでプログラムを充実させたい。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1	1	0	・支援員の知識や技術を評価するためには、事前・事中・事後の面談や連携が必要であると考えているがどうでしょうか?	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1	1	0	・特に質問することはありませんでした。	休み時間等を利用しての話ではお互いにフィードバックしきれない部分があると思うため、あらかじめ時間を設定することで、きちんとお互いの情報交換ができるようにしていきたい。
4	保育所等訪問支援を利用することで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	0	2	0	・特に学校生活での困り感は感じていなかったので、評価は差し控えさせていただきます。	学校側と、本児、ご家族の課題や困り感が可視化されるよう、意見交換できる時間をきちんと双方合意の上で設定していきたい。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2	0	0	・事業所自体の日頃からの支援はとても良いと思いますが、保育所等支援事業については今後検討が必要かと思います。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
保育所等訪問支援については、保護者の意向を踏まえて施設が実施するものと承知しているが、それを受け入れる学校の現状や意向が十分考慮されているとは言い難いと感しています。保護者の意向、施設の人員配置や支援員のスキル、受け入れる学校での困り感などを精査して実施していかなければ効果的な支援はできなし、のではないでしょうか?学校で児童自身がどんな困り感を感じているか、支援員が付くことでその困り感の解消につながるか、支援員はどのような支援をするのか(できるのか)、支援員からのフィードバックの在り方はどうなっているか、万が一の体制はどのようにになっているのか、等を十分に検討することがより効果的な支援につながると言えます。 本人の移動支援としては有効でした。				訪問支援員のスキルアップを行いながら、本児、保護者の困り感を学校側へ、学校側の状況をご家族へ伝えられるよう、学校側との情報交換する時間をきちんと設定し、お互いに協力し合い、本児のためにできる事を模索できる関係になっていきたいと思います。		